

第6回 市場小学校第二方面校開校準備部会会議録	
日 時	平成28年11月29日(火) 19時～20時05分
開 催 場 所	市場小学校 図工室
出 席 者 (20名)	佐藤部会長、武藤副部会長、畑委員、森田委員、大伴委員、神藏委員、岸委員、丸山委員、谷委員、上遠野委員、菅野委員、秋本委員、益子委員、貴志委員、横田委員、川端委員、渡辺委員、室井委員、益田委員、青木委員
欠 席 者 (3名)	村田委員、佐野委員、藪田委員
開 催 形 態	公開(傍聴者2人)
議 題	1 分校名案について 2 通学安全について (その他) 1 意見書案について
決 定 事 項	1 分校名案については、「市場小学校けやき分校」とすることを開校準備部会の意見とする。 2 通学安全要望については、要望書案を開校準備部会の意見とする。 (その他) 1 意見書案については、各所属団体に持ち帰り、確認することとする。
議 事	<p>1 分校名案について (事務局より「分校名案について」説明) 委員からアンケート等について補足</p> <p>(委 員): 全児童に対してアンケートをとる形で、児童会が行った。親しみが持てる、自分たちが意欲をもって取り組めるということにつながる名前を考えようと児童に呼びかけた。分校名案の1「市場小学校けやき分校」(58票)、2「市場小学校第二分校」(53票)、3「市場小学校輝き分校」(29票)は圧倒的に票数が多く、意味があるものが出てきている。「けやき分校」というのは、学校の門を入ったところに大きなシンボルツリーになっているけやきがあるということ、学校の教育目標のスローガンに「けやきとまち」というのがあり、けやきの「け」が「健康・元気」、「や」が「やる気で学習」、「き」が「決まりを守る」というようなことで、その頭文字をとって「けやき」、それと「まちの中で輝く子」ということで「まち」がスローガンになっている。子ども達も、学校のけやきとやる気や元気を気に入って「けやき分校」というのが多かったと思う。「第二分校」は、やはり本校が第一で、分校が第二という意識で単純に第一、第二という考え方とのことだ。「輝き分校」は自分達が輝きたいということで29票あった。児童数1,052名で総数339票の応募だが、全校に呼びかけて、自由応募ということでこういう結果に</p>

なっている。教職員も児童の得票数で上位3つということで、これを準備部会に出すことを了承し、持ってきた。

(部会長)：分校名案について事務局と委員からお話があったが、前回の会議では市場小学校の児童からアンケートをとって決めた3つの分校名案について、今回これを議論することになっていたの、議論していきたい。

(委員)：元宮に建つ新しい校舎にけやきはあるのか。

(委員)：さわやか公園にはある。新しい学校には10年間限定ということで、苗を植樹できれば、それを自分たちの成長と捉え、元に戻ることになれば本校に移したい。

(委員)：ただの木ということではなく、「けやき」という言葉に意味があり、子ども達がそういうことで出してきたのであれば、良いのではないかと思う。

(委員)：「元気」の「け」とかそういう意味があるなら良いと思う。

(委員)：分校名は1番のけやき分校というので良いのではないか。

(委員)：子ども達も気に入っている感じなのか。

(委員)：はい。シンボルツリーで大きな木があり、気に入っている。

(委員)：教育目標にもあり、素敵だと思う。

(委員)：先ほどの説明にもあったように、意味もあり、良いと思う。

(部会長)：それでは3つ分校名案が出ていますが、けやき分校ということによるしいか。

(一同)：了承。

(議題1：分校名案については以上)

2 通学安全について

(事務局より「通学安全点検実施結果報告」「市場小学校第二方面校開校に伴う通学安全に関する要望書案」について説明)

通学安全点検時に歩いたルート

Aルート：(尻手・オールパークスの方から通う想定) 市場小学校西側道路を鶴見ビューハイツまで南下し、元宮第二公園の南側の横須賀線ガード下を通り、ダイアパレス鶴見の前を通過して新設校まで通うルート

Bルート：(市場地区から通う想定) JRの踏切の古市場跨線橋から線路沿いに南へ歩き、スカイハイツと鶴見ビューハイツの間を通過して、元宮第二公園の南側の横須賀線ガード下を通り、ダイアパレス鶴見の前を通過して新設校まで通うルート

(委員)：10月25日にPTA役員、委員メンバー、現校外委員の計15名で皆さまと一緒に実際にこの場所を歩いてきた。子ども達がどちら側から通うかということでチームを分け、私はBルートを歩いた。細かく要望箇所をまとめていただいているが、このとおりで、線路沿

いと、工場とダイヤパレス鶴見の間を歩くところは、車というよりも、むしろ不審者への対策が必要になるかというところだ。そのためには、横須賀線ガード下のように、雰囲気がよくないところは綺麗にしてもらえるよう、スクールゾーン対策協議会などを通じての陳情が大切になってくると同時に、人の目が大切になるという部分では、私たちPTAも行政や警察を頼るだけではなく、動いていく必要が出てくると思う。

(委員)：尻手・オールパークスの方から新設校まで通うAルート歩いた。一緒に歩いたメンバーの中に元宮の校外委員もいたので、近い意見をいただけたと思う。要望内容はAルート、Bルートで重なるところもあったが、要望書案にまとめていただいているとおりで。

(委員)：跨線橋からベルクや第二方面校までの一本道で行くのが一番の近道になるが、道幅が狭く、信号を待つたまりがない。この道を選択し、分校へ5・6年が通うとなると、帰りの時間はほぼ同じ時間になるので、10～15分の間が一番多いときで700人がこの道を移動することになる。朝の時間も同様で、他の歩行者とのすれ違いも考えると、本当に厳しい状態になる。そのようなところで、車と歩行者を少しでも気にしないでいいように考えているのが、AルートとBルートになると思っている。このルートは、車は安全だが、他に不審者等の対応はとっていかねばならないので、これから開校までに考えていきたいと思っている。距離にすると、跨線橋からまっすぐベルクの前まで行くのに比べ、Bルートを通って行くほうが500m程度長くなるが、5・6年生の足で500mというのは、無理な距離ではないと考えられる。今のところ、Aルート・Bルートで考えると、JRより向こう側（市場上町、市場東中町、市場西中町、市場下町）はBルート、オールパークス・尻手・元宮はAルートになるということで、合流地点からは700人の子どもたちがこの道を通るということになり、ほぼ迷惑をかけないで行けるのではないかと考えられる。

(委員)：安全点検に参加したが、一番心配なのは、道幅が狭いということと、ダイヤパレス鶴見の通りは、不審者への対応として防犯カメラはぜひとも設置してもらいたい。人気がないことと、街灯も少ないのでその整備はぜひともやってもらいたい。

(委員)：子どもの足でBルートから第二方面校へ行くと、時間はどれぐらいかかるのか。今は、市場地区の遠いようなところからだ、5年生の足で20分ぐらいかけて市場小まで通っている。

(委員)：跨線橋からは第二方面校まで、15分あればというところ。市場下町からだ、地下道のところがなんとかなれば本当に近いが、やはり迂回することになる。

- (委員) : ルー特的には交通量の少ない安全なところを選んだのかと思うが、第二方面校の正門や入口はさわやか公園をまっすぐ抜けたところになるのか。これをまた迂回するようになるのか。
- (委員) : さわやか公園から分校の校舎に橋が架かることになるので、このルートで考えると、さわやか公園からは中を通してまっすぐに昇降口まで橋が架かる。グラウンドも耐水池の建物の上部なので、昇降口は校舎の2階になる予定で、校舎にはさわやか公園からも橋が架かり、グラウンドに行くにも橋が架かるような設計を考えている。
- (委員) : そのため、さわやか公園の中にも照明を設置していただかないと冬の下校時刻は厳しいと思われる。
- (委員) : 元宮の中を抜けるとなると、ルートとしてはこれしか方法がないと思う。これが一番安全なルートだろう。交通の安全面では、この道路は車の通行量はほとんどないので問題はないと思うが、やはり防犯上の安全ということで考えると、防犯カメラをつけてもらうのが一番いい。人通りが全くないというわけではないが、冬の時期になると暗くなる。そういったところを開校するまでの間に考えてもらえればと思う。
- (委員) : 犯罪に対しても、今は防犯カメラで防ぐことができる。
- (委員) : 地下道はなぜだめなのか。物理的に無理というのであればそれはわかるが、一般の人は通っている。安全対策をすれば通れるようになるのか。物理的に危ないからだめというのであれば、このルートで仕方ないのかと思う。
- (委員) : 地下道の中で曲がっているのが、見通しがきかず、先まで見えないのが問題だ。道幅も狭い。自転車もバイクも通るので、バイクは通れないようにするとかできるかもしれないが、見通しがきかないのが危なくて一番の問題だ。カメラをつけたところで、安全性を確保するにはだめだと思う。
- (副会長) : 曲がっていて見通しが悪いということ、暗くて危ないということ、自転車もバイクも走っているということで、その辺りの規制をきちんとして、照明やカメラを設置してというのであれば、ひとつの案にはなるかもしれない。
- (委員) : 地下道を通ることができれば言うことはないが、危険だということは十分知っているのだから、遠くても安全性をとる。
- (委員) : 市場下町からは、地下道を通ることができれば一番いいが、現状では無理だと思う。今のままでは、通学路として指定するときは跨線橋を迂回してというところは仕方ない。
- (委員) : 通学路の安全が確保されない限りは、分校にするかどうかといったことも考えられないという保護者はたくさんいた。もう少し明るくて安全で、ただ防犯カメラの設置だけではないようなことを考えて

もらいたい。

(部会長) : 地下道については、今までもずっと地域と役所で散々議論してきたが、今すぐなにかするところからは程遠い。そういうこともあり、この要望書ができあがったところだ。

(委員) : 朝だけでなく下校のときも必要になってくるので、昔の緑のおばさんのような人がいてやってくれるのであればいいが、そういう人がいてくれるのであれば、地下道も有効かもしれない。

(委員) : 今の地下道をまっすぐ見通しが良くなるように改良するとか、そういった費用を考えると、人件費をかけたほうがいいのかと思う。

(委員) : それも10年間の期間限定だ。

(委員) : 跨線橋もだめ、地下道もだめというのであれば、10年限定なのだから、その間、人を雇って両側について対応してくれるというのが一番安全だ。地下道の両側に人がつくのであれば、やっていけないのではないかと。通学安全も10年間限定であれば、人を雇うのに何十億もお金がかかるわけでもないで、そういった対応をやってもらいたい。とりあえず、今は地下道を通せないで、このルートとしておいても、できれば地下道を通すことを考えてもらいたい。

(委員) : 地下道を歩行者専用にするのと、使っている他の住民の方から相当の反対がありそうなのか。自転車が危ないということなので、完全に歩行者専用ということで、今は車両が上げ下げできるようスロープになっているが、全部階段にしてしまうのはどうか。

(委員) : それにバイクも通っていて、それを規制してしまうと大変だ。

(委員) : 市場の跨線橋の踏切のところは、開かずの踏み切りになるので、朝の通勤時間帯は、踏切が開かなくなった場合は、自転車もバイクも迂回して、川崎方面に行くか、地下道に回るかになる。ただでさえ急いでいる人たちが迂回して、急いで地下道の坂に突っ込んでくる状況なので、帰りの下校時刻の不審者対応ももちろん難しいが、朝の子ども達が一斉に学校に行く時間帯に突っ込んでくる自転車やバイクを相手にしなければならないのはすごく大変なことだと思う。

(委員) : 例えば見張りをつけたとしても地下道の中のことなので、入口か出口か、あるいは両方に人をつけたとしても中で何があるか、中にも人をつける必要がでてくる。そういった状況なので、中に入ってからの方が危ないかもしれない。

(委員) : なぜ地下道はだめなのかという意見は出ると思うが、今は行政や警察にお願いをしても防犯カメラや信号も難しい状況なので、保護者が何をできるのかというところに立ち返って、実際に通わせる子どもの安全を守るのは保護者だということで、考えていく必要がある。子どもの安全を守るためには、まずは保護者が何かやらなくてはだ

	<p>めだということで、難しいが人任せではないというところの意識の転換を図っていく必要がある。</p> <p>(委員): 皆さんが言いたいことを好き勝手に言って要望ばかりを言っても始まらない。協力する気持ちがないと世の中スムーズに行かないのではないかと思う。協力してやりましょうと、そうすれば地域からも色々なかたちでパトロールでも何でも、このルートで不安なところは地域も協力していくというスタンスでやると思う。保護者の方も皆さん働いていて忙しいかとは思いますが、協力しましょうという気持ちにならないと、自分たちはそれでは困ると一方的な意見だけ言っていてはいけないと思う。</p> <p>(部会長): 色々な意見をいただいたが、要望書についてはこの案の通り決定したいと思うがいかがでしょうか。</p> <p>(一同): 了承。</p> <p>(その他: 意見書案について)</p> <p>(事務局より、意見書案について説明)</p> <p>意見・質問等、特になし。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 次第</p> <p>(2) 委員名簿</p> <p>(3) 席次表</p> <p>(4) 市場小学校第二方面校開校準備部会ニュース第5号</p> <p>(5) 分校名案について</p> <p>(6) 通学安全点検実施結果報告書</p> <p>(7) 通学安全に関する要望書案</p> <p>(8) 意見書案</p> <p>2 特記事項</p> <p>次回は、平成29年1月26日(木)19時から公開により開催予定。開催場所は、市場小学校。</p>